

## しいたけ駒打ち体験



種駒打ち込みの様子

2月21日、物部町大柵で、奥物部を楽しむ会（公文寛伸会長）の主催による『しいたけの駒打ち体験』が行われました。

体験では、ブナやクヌギの原木にドリルで穴を開け、しいたけの種駒が打ち込まれました。この駒が1年半ほどかけて成長し、大きく肉厚のおいしいしいたけができます。

昼食には、地元山菜のてんぷらや、田舎寿司、自家製そばが振るまわれ、参加者からは喜びの声が聞かれました。



しいたけの駒

2月28日、健康センターセレネ前で『全席シートベルト着用』の啓発活動が行われました。

啓発は、中岡慎太郎・お龍の着ぐるみや、坂本龍馬の姿で行われました。



着けちゅうかえ？

啓発用ののぼり旗の中には、土佐弁で「ほな行くでみんなあベルトしちゅうかえ」などと書かれたものもありました。



## シートベルト 着けなあいかんぜよ！

## ふれあいじんけん学習会



2月26日、ふれあい交流センターで、ふれあいじんけん学習会が開催されました。

講師の高知県人権教育研究協議会の本田実さんからは『身のまわりの事実（現実）から学ぶこと～同和問題の学習～』と題し、高知県と香美市の人権意識調査結果を基に、生活基盤整備の大切さや、正しい人権教育の重要性などが分かりやすく話されました。

## 効率のよい消火活動に向けて



香美市消防署の水槽付消防ポンプ自動車がい買い替えられ、3月1日から運用が始まりました。

これは、昭和63年に配備した水槽付消防ポンプ自動車の老朽化が激しく、消防業務に支障をきたす恐れがあるため行われました。新型車両は、泡混合装置を搭載しており、火災現場で効率のよい消火が期待できます。また、使用している泡消火剤は、環境に優しいものと認められています。

## 環境先進企業と協働の森づくり

2月4日、高知県庁で、セントラルグループ・高知県・香美市の3者による『環境先進企業との協働の森づくり事業』のパートナーズ協定締結式が行われました。

協定森林は、物部町仙頭の市有林6haで、名称は『セントラルグループ香美市物部の森』となりました。今後3年間で計90万円の協賛金を活用して森林整備（間伐）などが行われます。

今回の協定は高知県では43件目で香美市においては、「ルネサスの森」「高知工科大学－物部川共生の森」に次いで3件目となります。



左から、香美市長・セントラルグループ企業 慶尚 立花業務本部長・高知県知事



## 谷秦山先生墓前祭

2月21日、谷秦山墓所（土佐山田町植）で、谷秦山先生墓前祭が行われ、約50人が参列し、秦山の功績をしのびました。

墓前祭は、秦山の生誕300年を記念して、昭和37年に始まり毎年行われています。高知県秦山会の主催で行われ、今回で49回目。

墓所周辺は整備され、参道にはステンレス製の手すりが設けられ、石垣の階段も平らに整地されていました。来年は50回の節目で、周辺に梅などが植えられる予定です。



## 環境にやさしい温泉へ

木質チップのサイ回

2月15日、べふ峡温泉で、チップボイラー点火式が行われました。

これは、べふ峡温泉の重油ボイラー2基のうち、老朽したボイラー1基を木質チップボイラーに切り替えたものです。給湯の90%が木質チップボイラーによる加熱になりました。これにより、年間約250万円の経費削減、CO2削減量年間約198トとなり、地球環境に優しい温泉となりました。将来的には、CO2排出権取引も可能になるそうです。

2月21日、市立中央公民館で、香美市芸術祭土佐山田町合唱団定期演奏会が行われました。今回で21回目の演奏会となり、郷土の生んだ音楽家『有澤一郎先生』の楽曲を中心に、美しいハーモニーで観客を魅了しました。

ゲストコーナーでは『こどもこーらす』が合唱し、天使の歌声を響かせてくれました。

観客との合唱もあり、多くのプログラムで会場が一体となりました。



## ハーモニー♪観客を魅了